

首症状と手荒れを経て漢方治療を行った成人アトピーの経過 (29 歳女性)

症例 ID：001-20-IH | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

子どもの頃から手荒れが強く、アレルギー性鼻炎もありました。社会人になってからは手のかゆみや掻破による出血があり、春先には目のまわりのかゆみもみられました。

前年夏に首まわりが突然かゆくなり、皮膚科でステロイド内服薬を処方されました。中止すると再び症状が出る状態が続きました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	皮膚科でステロイド外用薬を使用していました。前年夏にはステロイド内服薬も処方されました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	来院前まで断続的な使用歴があります。
中止時期	松本医院で漢方治療へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小児期～社会人期	来院前	手荒れ、鼻炎、目のまわりのかゆみがあり、その都度ステロイド外用薬を使用していました。
前年夏	来院前	首まわりにかゆみが出て、ステロイド内服薬を使用しました。中止すると症状が戻る状態でした。
12 月	治療開始	漢方風呂と煎じ薬による治療を始めました。
治療経過中	経過中	強いリバウンドはみられず、漢方風呂と煎じ薬を継続しました。
5 か月後	経過後	漢方風呂は終了しました。
8 か月後	経過後	煎じ薬も終了し、外用を少し使う程度になりました。

4. ピーク時期

ピークは、来院前に首まわりのかゆみが続き、ステロイドを止めると再び症状が出ていた時期です。

5. 困りごと

- 手荒れが強く、学校生活や社会人生活の中で負担がありました。
- 首の症状が出たり引いたりし、ステロイドを止めにくい状態でした。
- 漢方風呂を 1 時間以上続ける負担がありました。

6. 経過のまとめ

子どもの頃から手荒れや鼻炎があり、成人後には首まわりのかゆみに対してステロイド内服薬も使っていました。12月から漢方風呂と煎じ薬を始め、強いリバウンドはみられない経過でした。

5か月で漢方風呂を終了し、8か月で煎じ薬も終了しました。その後は外用を少し使う程度となり、継続的な来院はなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。